



岸本は、OBでもある、大分明豊の川崎監督から連絡を頂き「特別何が良いと言うのではなく、センスを感じさせる選手で鍛え方次第で面白い存在になると思います」と連絡を頂き、川崎監督同行でセレクションに参加するのですが「**大人しい子だね**」と第一声に川崎監督に言ったのを覚えてます。

高校時代に内野手から外野手にコンバートされたこともあり、送球の速さは群を抜いていましたが、肘を痛めて思うように投げられない苦悩がありましたが、明豊高校の先輩である、平井徹からティ打撃での指導や外野手のポジション取りなどを教わり、平井が引退する時には道具を譲り受けるなど可愛がってもらってましたね。

また、途中から内野手に挑戦や右打ちから左打ちに変更するなど脚力を活かそうと努力をし、ウエイトトレーニングを頑張るなど黙々と一人で自主練習を頑張っていました。なかなか結果を残せずにいました。そんな時も腐らず『**代走の切り札**』として活躍をしてくれ今年度の西近畿予選のNOMOクラブとの決定戦では、小川の代走として、1塁からの好走塁で貴重な追加点をあげてくれました。

社会人野球にも慣れてきてこれからという時ですが、肘の故障などから、今回2年で野球を引退することになり、本来なら「**高卒5年、大卒3年以上**」の約束事があり、明豊の川崎監督にも連絡を入れると「**ご迷惑を掛けてすみません**」と謝ってましたが「**面談で実家に帰って大阪の店で仕事を頑張って代走の切り札から仕事でレギュラーを勝ち取ります**」と決意していたことを伝えると、川崎監督も「**社会人として一人前になってくれるのが一番嬉しい**」と期待されていました。

恩師の気持ちを無にせず仕事を頑張って、会社でのレギュラー確保を頑張って下さい。2年間と短い間でしたが、ご苦労様でした。



「代走の切り札」  
岸本成樹選手  
(平成29年入部)